

世界の“虫”映画史上に鈍く輝く怪作 『昆虫大戦争』のサウンドトラックが、待望の初商品化！ これはまさに人類絶滅の危機だ！！

映画ファンならずとも「男はつらいよ」シリーズでおなじみの松竹が、異色作「吸血鬼ゴケミドロ」を公開した1968年。「ゴケミドロ」の衝撃から立ち直れない日本列島に、わずか3ヶ月後に訪れたさらなるショック！世界の“虫”映画史上に鈍く輝く怪作『昆虫大戦争』の完全盤サウンドトラックが、半世紀の時を経てついに初CD化！今回もオリジナル6mmマスターテープからのマスタリングを執行。印象的なタイトル曲はもちろん、ラジオから流れる音楽、予告編で使用された楽曲まで、現存する昆虫大戦争の音源は全て収録したまさに決定盤！聴けば二度と虫取りは出来なくなる、あまりにも恐ろしすぎる楽曲の数々！



菊池俊輔

1931年生まれ。「トラック野郎」シリーズの木下忠司に師事し、1971年には『仮面ライダー』の主題歌「レッツゴー!! ライダーキック」、1973年には『女囚さそりシリーズ』の主題歌「怨み節」がヒット。同曲は後年、『キル・ビル』でも使用された。

純粋な映画作品のみならず、特撮やアニメ作品も多く手掛け、担当した番組は放送期間が長かったり、シリーズ化されることが多かった。そのため、「菊池俊輔が音楽を担当すれば、番組もヒットする」と言われることもあったという。

明解なブルース・ペンタトニックを基本とする16ビートの音楽が特徴で、ファンには「菊池節」として親しまれている。『ゲッターロボ』、『アイアンキング』の主題歌など、畳み掛けるようなブラスと勇ましいドラムスが印象的。『仮面ライダー』や『暴れん坊将軍』、『ドラゴンボール』などアップテンポの作品も多いが、『ドラえもん』のテーマ音楽や劇中BGMなど、スローテンポの楽曲も手掛けた。現在では、菊池の楽曲はコアなファンならずとも一度は聴いたことのある定番楽曲となっている。

本作はそんな菊池作品の中にあって、全編に不穏な空気の漂うSFパニック作という稀有な存在である。

1	アーティスト:	菊池俊輔		
	タイトル:	昆虫大戦争 サウンドトラック		
	発売日	2016/5/11		
	FORMAT	CD	BARCODE	4988044023314
	規格No.	CINK9	LABEL	CINEMA-KAN Label
	税抜販売価格	2,315円	税込販売価格	2,500円
	オーダー締切日	2016/3/31	貴店名	
				枚



DISK UNION MUSIC DISTRIBUTION
ディスクユニオン ミュージック ディストリビューション

TEL: 03-3511-9944 担当: 嶋田
FAX: 03-3511-9938
E-MAIL: distribution@diskunion.co.jp